

令和 3 年 月 日

ICT を活用した災害時における情報共有ツール
運用ルール（案）

地域医療担当部地域医療課

1. グループの作成

災害時医療機関や協定締結団体等と区で、以下のように、LINE WORKS 内でグループを作成し、災害時における情報連絡を行う。

No	グループ名	内訳
1	医療救護活動拠点	区・区災害医療コーディネーター
2	区・医師会	No 1 + 練馬区医師会
3	区・歯科医師会	No 1 + 練馬区歯科医師会
4	区・薬剤師会	No 1 + 練馬区薬剤師会
5	区・柔道整復師会	No 1 + 東京都柔道整復師会練馬支部
6	区・災害時医療機関	No 1 + 災害時医療機関
7	区・透析医療機関	No 1 + 透析医療機関
8	区・患者搬送団体①	No 1 + 民間救急事業者（傷病者搬送）
9	区・患者搬送団体②	No 1 + 介護タクシー事業者（透析患者搬送）
10	区・医薬品卸	No 1 + 医薬品卸売業者
11	区・医療救護所	No 1 + 避難拠点要員（医療救護所）
12	区・医師会・派遣医師	No 2 + 派遣医療スタッフ
13	区・歯科医師会・派遣歯科医師	No 3 + 派遣医療スタッフ
14	区・薬剤師会・派遣薬剤師	No 4 + 派遣医療スタッフ
15	区・柔整師会・派遣柔整師	No 5 + 派遣医療スタッフ
16	区・登録看護師	No 1 + 登録看護師

2. ID の付与について

原則、法人については 2 ID、個人（個人事業主含む）については 1 ID を付与する。

3. ID の登録や変更、削除について

導入対象に該当する団体については、事務局（区地域医療課）から個別に通知および登録依頼を行う。また、導入対象における担当者変更やその他連絡事項については、事務局に連絡することとする。

4. 使用イメージ

(1) トークルーム

The image displays two screenshots of the LINE WORKS application. The top screenshot shows a group chat interface for '区・医師会・派遣医師 (1)'. A red circle highlights the call icon in the top right corner, with a label '(4) 通話機能'. The chat history includes a text message about a survey and a shared image of a road. A label '画像共有' points to the image. The bottom screenshot shows a survey form titled 'アンケート回答' with various options for safety status and survey participation. A label '(2) アンケート機能' points to the survey form. A red box highlights the 'トーク' (Talk) icon in the bottom navigation bar, with a label '区と各事業者とで作成するグループ (カッコ内数字は各グループ内メンバー数)' pointing to it.

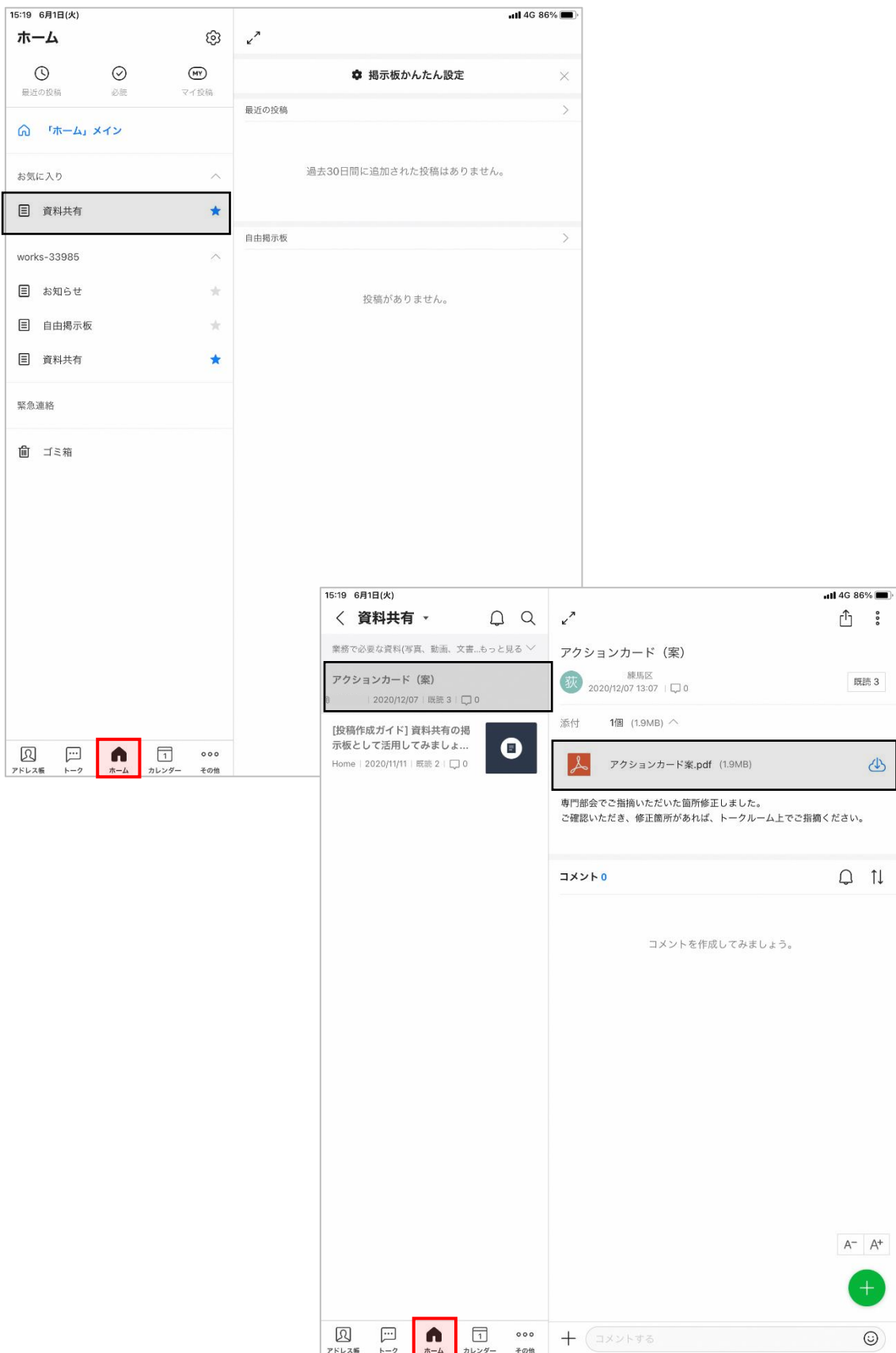
(4) 通話機能

画像共有

(2) アンケート機能

区と各事業者とで作成するグループ
(カッコ内数字は各グループ内メンバー数)

(3) 掲示板 (ホーム画面)



5. 注意事項

(1) トークルームへの投稿のコツ

災害時の利用においては、以下のような、形式的な挨拶などは必要ありません。より効率的な運用を心掛けましょう。

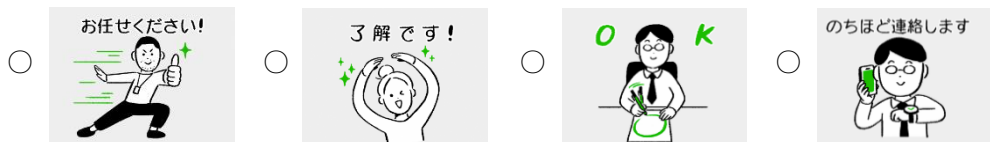
- ×いつもお世話になっております。
- ×先日は、〜〜〜ありがとうございました。
- ×署名

ただし、必要最低限の情報は入力するようにしてください。

- ・ ○○病院の△△です。
- ・ ○○医療救護所の△△です。

トークの相手先を指定する場合は、「@」を入力し、グループ内の特定のメンバーを選択してください。

スタンプの使用は問題ありませんが、あいまいな表現のスタンプは避けましょう。



いつもお世話になっております。
練馬区災害対策健康部の○○です。
先日は、ご面倒をお掛けして申し訳ございませんでした。
さて、先ほど区内震度6弱の地震が発生しました。つきましては、貴会会館の被害状況をご報告いただけますでしょうか。
よろしくお願いたします。

練馬区災害対策健康部の○○です。
先ほど区内震度6弱の地震が発生しました。被害状況等をご報告願います。

- (2) LINE WORKS での個人情報の投稿について
LINE WORKS 上で、個人を特定できる情報を投稿することは一切しないこととします。また、それは、文字だけではなく写真や動画等も含まれます。
- (3) LINE WORKS のアカウントを複数持っている場合
モバイル版アプリであれば、複数のアカウントでログインすることが可能です。画面に表示されていないアカウントの通知も届きますので、平時は、日常利用しているアカウントを表示していただいて構いません。ただし、区からの通知を見逃さないようご注意ください。
- (4) グループの作成について
利用者間でグループを作成し、情報連絡を行うことは可能です。ただし、原則、区職員も同じグループに招待してください。
- (5) 日常の使用について
事業者間の連絡など日常の使用については、禁止をするものではありませんが、「ICT を活用した災害時における情報共有ツール運用ガイドライン」の「6. 利用規定」は厳守くださいますようお願いいたします。また、トークの内容は、区の情報公開の対象となります。
- (6) LINE および外部 LINE WORKS ユーザーとの連携について
LINE および外部 LINE WORKS ユーザーを招待する場合、必ず事前に事務局と協議を行うこと。
- (7) スマートフォン等端末の機種を変更した場合
LINE WORKS は、端末の機種変更時に特段引継ぎを必要としません。ただし、ログインをする際は、ID とパスワードが必要となるため、控えておきましょう。
- (8) 所属団体に人事異動があった場合
人事異動などで、アカウント被付与者が、所属内の防災担当でなくなった場合や、当該事業者の所属でなくなった場合、速やかに事務局（区地域医療課）に連絡してください。
- (9) 使用している端末を紛失した場合
LINE WORKS をログインしている端末（スマートフォンや PC）を紛失した場合、アカウント一時停止のため、速やかに事務局に届け出てください。